

全日本体操競技選手権（代表選手選考会等）に携わる監督・コーチの
2020年度1種審判伝達研修会受講義務 について

国際体操連盟（FIG）によるルール改定は、通例4年ごとにおこなわれます。採点規則には、監督、コーチの義務として、採点規則や競技規則を熟知していることが定められています。

次回、2021年（予定）のルール改定を念頭に、下記対象に該当する監督・コーチが迅速に新ルール情報を入手し、ルールの理解、指導現場への浸透を図り次期大会に向け強化を推進させることを目的として、1種審判伝達研修会への参加を原則として義務といたします。受講できない場合、次年度の1種審判講習会での参加を義務といたします。

○ 対象

全日本選手権（代表選手選考会等）にて携わる監督・コーチ

○ 講習会の参加条件

新ルールを理解するためには、ルールの基礎的知識を習得していることが前提となります。

そのため、対象種別の審判資格のない監督・コーチは、種別（体操男女）ごとの3種以上の審判資格を取得して研修会に参加してください。（2018年度末、2019年度末に開催の2種、3種認定講習会で資格取得）

○ 対象となる競技会

- ・ 全日本選手権（個人総合、種目別、団体）
- ・ NHK杯
- ・ その他、協会が主催する日本代表決定競技会（スーパーファイナル等）

○ 保証される権利

<コーチ>

受講した監督・コーチは、採点規則に記載されているコーチの権利を全て有することが出来ます。

- ・ 監督会議への参加
- ・ 新技申請
- ・ インクワイアリ（問合せ）の申請
- ・ 選手の補助、落下時や跳馬の第1演技と第2演技の間での選手への助言
- ・ 器械の調整、準備

※ 受講していない者は、エキストラコーチと呼称する。

※ 次年度以降の1種審判講習会、全国代表審判研修会等への参加により、コーチの権利を有することが出来る

<エキストラコーチ>

エキストラコーチの権利は、以下の項目に限定します。

- ・ 選手の補助、落下時や跳馬の第1演技と第2演技の間での選手への助言
- ・ 器械の調整、準備

以上